

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年01月18日

計画の名称	茨木市内における一時避難地防災機能の強化（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	茨木市												
計画の目標	茨木市地域防災計画において都市公園14箇所を一時避難地に位置づけているが、マンホールトイレ等の防災機能のある公園は2箇所だけに止まっているため、他の公園にも、かまどベンチ、マンホールトイレ、応急救護用東屋、ソーラー照明などを整備することで、地域住民の安心安全を確保するとともに、地域防災力の向上と防災意識の高揚に資する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	174	A	174	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	一時避難地として指定している14公園のうち、防災施設が未整備である12公園へ防災施設を整備する。（平成27年度時点で14公園のうち2公園は整備済み） 一時避難地として指定した公園のうち防災設備を設置した公園の率 (整備済み公園数) / (平成27年度時点で防災設備未設置の公園12公園) × 100(%)	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
H27は設計を実施												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	茨木市	直接	茨木市	—	—	茨木市全域都市防災総合 推進事業	防災施設（かまどベンチ、マ ンホールトイレ、応急救護所 、ソーラー照明）設置（12箇 所）	茨木市	■	■	■	■	■	174		—	
												小計						174		
											合計						174			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

外部有識者による茨木市建設事業評価委員会

事後評価の実施時期

令和3年1月

公表の方法

茨木市ホームページにより公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・事業実施により、地域から一時避難地の防災機能に係る説明会や防災訓練実施の要望や地域の会報誌で防災機能を紹介していただいているなど、興味・関心が寄せられており、説明会や防災訓練を実施している。
・災害時に指定避難所以外の防災拠点として活用できることにより、地域住民の安全安心の確保につながるとともに、平常時には、防災訓練等を行うなど、地域防災力の向上及び防災意識の高揚に資する。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後とも、説明会や防災訓練の実施を通じて地域住民に整備内容等をお知らせする。

